

カリキュラム・マップ

現代心理学部の教育目的

「人間とは何か」という古くからの根本問題を、心、身体、映像に関する諸学を通じ、サイエンス、フィロソフィ、アートが融合した、現代世界にふさわしい方法で探究すること。

学修成果

<心理学科>

- 1) 「人間とは何か」の根本問題に対し、心、身体、映像の3つの視点から理論的、技術的にアプローチでき、21世紀を生きる人間にとって有効な思考方法を身につけることができる。
- 2) さらに、心理学、隣接・関連諸科学を構成する基礎的な諸概念を、包括的、学問的に理解し、問題の発見と解決に際して、それらを有効、的確に使用することができる。
- 3) 心理学に関する文献を理解するために必要な、心理学の歴史、主な研究領域、学説、統計手法に対する基礎知識と英文読解力を身につける。
- 4) 心理学の基礎・応用に関連する研究あるいは実践活動を遂行するために必要な、実験・調査・面接・テストを実施する技術と、研究や調査を計画・立案し、研究の成果を報告する能力を身につける。
- 5) 社会、企業、組織、地域、家庭におけるさまざまな問題解決に、心理学の知識と方法論を応用する能力を身につける。

現代心理学部心理学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部心理学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心理学、隣接・ 関連諸科学の基 礎的概念を理解 し、説明すること ができる	3) 心理学に関する 文献理解のため の基礎知識と英 文読解力を身に つける	4) 実験・調査等の 技術、研究・調 査を計画・立案 し、研究の成果 を報告する能力 を身につける	5) 心理学の知識と 方法論を問題解 決に応用する能 力を身につける
現代心理学入門	必修科目	1	心・身体・映像の知の総合と「新たな人間学」の構築をめざし、各担当教員が専門学・思考を基盤とする多様な発題を行い、専門学導入への契機とする。	◎	○			
キャリアと心理学	必修科目	1	職業的に、心理学の専門知識・経験がどのように社会的貢献につながるのかを学ぶことを通じて、自身の職業・キャリア選択について考える。	△				◎
心理学概論1	必修科目	1	心理学概論2と併せて、心理学の成り立ちを理解し、また人の心の基本的な仕組み及び働きについて学習・研究する上で必要不可欠な基礎知識を身につける。	○	◎	△		
心理学概論2	必修科目	1	心理学概論1と併せて、心理学の成り立ちを理解し、また人の心の基本的な仕組み及び働きについて学習・研究する上で必要不可欠な基礎知識を身につける。	○	◎	△		
心理学統計法1	必修科目	1	心理学を学び、研究する過程での様々な課題を解決するための道具として、統計に関する基本的な知識や手法を身につけ、使いこなせるようになる。				◎	◎
心理学統計法2	必修科目	1	心理学を学び、研究する過程での様々な課題を解決するための道具として、統計に関する基本的な知識や手法を身につけ、使いこなせるようになる。				◎	◎
心理学実験実習1 (心理学実験)	必修科目	2	心理学実験の計画・立案や実施、データのまとめ方、統計に関する基礎的知識を用いた解析、報告書の作成に関して、具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎
心理学調査実習1	必修科目	2	心理学における調査、観察、テストの計画や実施、データのまとめ方、報告書の作成に関して、具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎
心理学文献講読1 (A)～(D)	必修科目	2	心理学文献講読2と併せて、英語で記されたテキストを用いて心理学の代表的な研究知見に触れる。学説・理論や研究法について知るとともに、専門用語・概念の背景を理解する。		○	◎		
心理学文献講読2 (A)～(D)	必修科目	2	心理学文献講読1と併せて、英語で記されたテキストを用いて心理学の代表的な研究知見に触れる。学説・理論や研究法について知るとともに、専門用語・概念の背景を理解する。		○	◎		
学部統合科目1(総合融合)	選択学部統合科目	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像を総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目2(認知行動)	選択学部統合科目	2～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、現代心理学の中核をなす認知・行動的側面を科学的・実証的に理解する。	◎	○			

現代心理学部心理学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部心理学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心理学、隣接・ 関連諸科学の基 礎的概念を理解 し、説明すること ができる	3) 心理学に関する 文献理解のため の基礎知識と英 文読解力を身に つける	4) 実験・調査等の 技術、研究・調 査を計画・立案 し、研究の成果 を報告する能力 を身につける	5) 心理学の知識と 方法論を問題解 決に応用する能 力を身につける
学部統合科目3(表現思考)	選択 学部統合 科目	1~4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、映像や身体をめぐる思想、芸術表現について多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目4(コラボ)	選択 学部統合 科目	2~4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、現代心理学部のこれまでの取り組みや成果をふまえ、それをさらに発展させた内容をつづじて、心理・身体・映像を総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
心理学演習1・2(A~K)	選択 学科選択 科目A	3~4	専任教員の指導の下、少人数の演習形式を通じて、心理学の基礎知識や文献読解、研究手法、および研究計画やその実施・報告に関する経験と考察を深め、卒業論文をまとめる力量を培う。		○	○	◎	◎
知覚心理学(知覚・認知心理学)	選択 学科選択 科目B	1~4	視覚や聴覚など感覚・知覚情報処理過程や人の認知等に関して、その機序や障害について心理学的・脳科学的観点から理解を深める。		◎	○	△	
学習心理学(学習・言語心理学)	選択 学科選択 科目B	1~4	実験心理学の一領域としての、また、さまざまな行動援助の基礎領域としての、学習心理学全般について理解する。人の行動が変化する過程や言語の習得における機序についても理解する。		◎	○	△	
認知心理学(知覚・認知心理学)	選択 学科選択 科目B	1~4	人間の高次認知過程(記憶、言語、思考など)について、人の感覚・知覚も含めて、その特質や機序に関する実験的知見とモデル・理論について近年の研究動向を踏まえて理解する。また、障害に関しても学ぶ。		◎	○	△	
生理心理学(神経・生理心理学)	選択 学科選択 科目B	1~4	生体由来信号(脳波、心拍等)の計測を通じて、ヒトの心理過程を理解する生理心理学の方法論や理論、実用例を学ぶことを目的とする。脳神経系の構造及び機能、記憶や感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害についても理解する。		◎	○	△	
比較心理学	選択 学科選択 科目B	1~4	ヒトは他の生き物と連続した存在である。ヒト以外の動物における学習・認知能力を系統発生的に捉えることで明らかとなるヒトの学習・認知能力の理解を目指す。		◎	○	△	
発達心理学	選択 学科選択 科目B	1~4	発達心理学の主要領域を概観し、基礎的知識を習得するとともに、発達理解の方法を学ぶことを目的とする。認知機能の発達及び感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達、発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方、高齢者の心理等について理解する。		◎	○	△	
教育心理学(教育・学校心理学)	選択 学科選択 科目B	1~4	児童・生徒の心身の発達や学習に関する心理過程を学び、教育現場に関わるさまざまな問題及びその背景を含めて、心理学的現象を理解する。また、教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について理解する。		◎	○	△	○
感情・人格心理学	選択 学科選択 科目B	1~4	人格の形成過程や人格の基本的な諸理論に関する学習を通じて、性格の成り立ちについて学ぶとともに、心理学的な人間理解の発想を深める。感情に関する理論及び感情喚起の機序、感情が行動に及ぼす影響、人格の概念及び形成過程、人格の類型、特性等について理解する。		◎	○	△	
社会心理学(社会・集団・家族心理学)	選択 学科選択 科目B	1~4	社会心理学を応用した研究を紹介して、社会心理学の現実社会への応用可能性を理解する。対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程、人の態度及び行動について、および家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響についても学ぶ。		◎	○	△	
産業・組織心理学	選択 学科選択 科目B	1~4	産業・組織心理学の理論と知見を知り、その現代的意義を理解する。職場における問題(キャリア形成等)に対して必要な心理に関する支援や組織における人の行動についても理解する。		◎	○	△	○
臨床心理学概論	選択 学科選択 科目B	1~4	臨床心理学の成り立ちや臨床心理学の代表的な理論について学び、臨床心理学の実践、つまり心理療法のプロセスやアプローチについて理解を深める。		◎	○	△	○
家族心理学(社会・集団・家族心理学)	選択 学科選択 科目B	1~4	特に家族関係に着目しながら、集団及び文化が個人に及ぼす影響について学び、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程や人の態度及び行動について理解する。					
心理学研究法1	選択 学科選択 科目C	2~4	心理学研究における実証的研究法、特に実験研究を計画・実施方法し、得られたデータを分析・解析するための知識と技法を修得する。データを用いた実証的な思考方法および研究における倫理についても理解する。		○		◎	
心理学研究法2	選択 学科選択 科目C	2~4	心理学研究における実証的研究法、特に調査研究を計画・実施し、得られたデータを分析・解析するための知識と技法を修得する。実証的研究法(量的研究及び質的研究)、データを用いた実証的な思考方法および研究における倫理についても理解する。		○		◎	

現代心理学部心理学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部心理学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心理学、隣接・ 関連諸科学の基 礎的概念を理解 し、説明すること ができる	3) 心理学に関する 文献理解のため の基礎知識と英 文読解力を身に つける	4) 実験・調査等の 技術、研究・調 査を計画・立案 し、研究の成果 を報告する能力 を身につける	5) 心理学の知識と 方法論を問題解 決に応用する能 力を身につける
心理学研究法3	選択 学科選択 科目C	2~4	心理学研究における実証的研究法、特に質的研究を計画・実施方法し、得られたデータを分析・解析するための知識と技法を修得する。実証的研究法(量的研究及び質的研究)、データを用いた実証的な思考方法および研究における倫理についても理解する。		○		◎	
心理学研究法4(心理的アセスメント)	選択 学科選択 科目C	2~4	心理学研究における心理検査を計画・実施方法し、得られたデータを分析・解析するための知識と技法を修得する。心理的アセスメントの目的及び倫理、心理的アセスメントの観点及び展開、心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査)、適切な記録及び報告について理解する。		○		◎	○
実験的行動分析	選択 学科選択 科目D	2~4	ヒトを含めた動物個体が示す様々な行動はどのような要因によって制御されているのか。実験的行動分析学の枠組みからこの問いに対する答えを探る。		◎		○	△
応用行動分析	選択 学科選択 科目D	2~4	応用行動分析は社会的な問題の解決をめざす行動分析学の一領域である。この授業では、その見方と研究成果を紹介し、その特長を知ることをめざす。		◎		○	○
言語心理学(学習・言語心理学)	選択 学科選択 科目D	2~4	人間の言語の特徴や人間が言語行動を持つことの意味について学ぶ。また、言語行動を含め、人の行動が変化する過程についても理解する。		◎		○	△
文化心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	ヒトが自然環境や社会的環境の中で築いてきた文化的な仕組み、枠組に関する歴史的側面や多様性について学ぶ。		◎		○	△
神経心理学(神経・生理心理学)	選択 学科選択 科目D	2~4	神経科学、神経病理学、発達障害など、脳を含むヒトの神経組織メカニズムがいかに関心の働きを支えているかを学ぶ。脳神経系の構造及び機能、記憶や感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害の概要等についても理解する。		◎		○	△
動物生態学	選択 学科選択 科目D	2~4	神経系・内分泌系など生物学的過程に基礎づけられた行動理解を学ぶ。		◎		○	△
児童心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	発達臨床や教育臨床、司法矯正臨床など子どもの臨床の実際を学ぶ。		◎		○	○
青年心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	青年期の発達段階を捉え、自我同一性がいかに形作られるのかを学ぶ。		◎		○	△
学校心理学(教育・学校心理学)	選択 学科選択 科目D	2~4	現代の教育・学校教育が直面しているさまざまな問題(いじめ、不登校、学級崩壊など)やその背景について理解するとともに、教育・学校現場における心理社会的課題と、そこで必要な具体的な支援方法や技法について学ぶ。		◎		○	○
精神疾患とその治療	選択 学科選択 科目D	2~4	心の病について学ぶ。精神病圏の病、神経症圏の病、人格上の病などの特徴を学ぶとともに、診断方法、治療なども学ぶ。代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援等、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関との連携について理解する。		◎		○	○
社会病理学	選択 学科選択 科目D	2~4	現代におけるさまざまな社会病理現象の発生メカニズムを理解するとともに、解決・回復へのアプローチ方法について学ぶ。		◎		○	△
心理学的支援法	選択 学科選択 科目D	2~4	心理療法の倫理および様々な理論と実践の基本を知る。代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界、訪問による支援や地域支援の意義、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援、心の健康教育等について理解する。		◎		○	○
司法・犯罪心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	犯罪心理学の概念、捜査行動と心理、目撃証言、非行臨床などを学ぶ。犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識や司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援についても理解する。		◎		○	○
リスク心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	ヒトが様々な事象や事物に対してどのようにリスクを知覚・認知し、またどのように行動・対処方略をとるのかについて理解する。		◎		○	○
消費者心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	消費者の心理や行動に関わる心理学的知識の習得が目標である。消費に関わる現象に対して心理学的な「メガネ」を持って接近できる態度を身につける。		◎		○	○
コミュニティ心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	コミュニティモデルにもとづく心理援助の考え方と方法を、コミュニティ心理学の視座から追究する。		◎		○	△

現代心理学部心理学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部心理学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心理学、隣接・ 関連諸科学の基 礎的概念を理解 し、説明すること ができる	3) 心理学に関する 文献理解のため の基礎知識と英 文読解力を身に つける	4) 実験・調査等の 技術、研究・調 査を計画・立案 し、研究の成果 を報告する能力 を身につける	5) 心理学の知識と 方法論を問題解 決に応用する能 力を身につける
心理学特講1(基礎)	選択 学科選択 科目D	2~4	基礎心理学、応用心理学、臨床心理学の領域において、歴史的な経緯を踏まえた上で最先端の研究内容について触れ、多角的な視点から心理学への理解を深める。		◎	○	△	△
心理学特講2(応・比較文化)	選択 学科選択 科目D	2~4	基礎心理学、応用心理学、臨床心理学の領域において、歴史的な経緯を踏まえた上で最先端の研究内容について触れ、多角的な視点から心理学への理解を深める。		◎	○	△	△
心理学特講3(臨・家族療法)	選択 学科選択 科目D	2~4	基礎心理学、応用心理学、臨床心理学の領域において、歴史的な経緯を踏まえた上で最先端の研究内容について触れ、多角的な視点から心理学への理解を深める。		◎	○	△	△
心理学特講4(海外)	選択 学科選択 科目D	2~4	基礎心理学、応用心理学、臨床心理学の領域において、海外体験を通じて歴史的な経緯について触れ、多角的な視点から心理学への理解を深める。		◎	○	△	△
障害者・障害児心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	身体障害、知的障害及び精神障害の概要や障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援について理解する。		◎	○	△	○
健康・医療心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	ストレスと心身の疾病との関係、医療現場における心理社会的課題及び必要な支援、保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援、災害時等に必要心理に関する支援等について理解する。		◎	○	△	○
福祉心理学	選択 学科選択 科目D	2~4	福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援、虐待についての基本的知識等について理解する。		◎	○	△	○
人体の構造と機能及び疾病	選択 学科選択 科目D	2~4	心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害、がんや難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病について理解する。		◎	○		△
卒業論文指導演習1・2	選択 学科選択 科目E	4	専任教員の指導の下、卒業研究を計画・遂行し、卒業論文として成果をまとめる力量を培う。				○	◎
卒業論文	選択 学科選択 科目E	4	心理学の基礎的学習を踏まえ、課題設定・研究実施・論文作成を行う。				○	◎
卒業研究指導演習	選択 学科選択 科目E	4	専任教員の指導の下、卒業研究に値する学問的活動を遂行し、卒業レポートとして成果をまとめる力量を培う。				○	◎
卒業研究	選択 学科選択 科目E	4	心理学の基礎的学習を踏まえ、卒業研究に値する学問的活動の実施・レポート作成を行う。				○	◎
心理学実験実習2	自由 自由選択 科目	2~4	心理学実験の計画や実施、データのまとめ方、報告書の作成に関して、発展的な内容を具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎
心理学調査実習2	自由 自由選択 科目	2~4	心理学における調査、観察、テストの計画や実施、データのまとめ方、報告書の作成に関して、発展的な内容を具体的な体験を通して理解し、習得する。				◎	◎
心理学原書講読(入門)	自由 自由選択 科目	1~4	学部英語副専攻科目として、基礎的・導入的な内容を扱う心理学の専門書や文献の読解能力を養う。		△	◎		
英語文献講読演習(初級)	自由 自由選択 科目	2~4	学部英語副専攻科目として、心理学に関する英語の専門書や学会誌論文の基礎的な読解能力、議論する能力を養う。		△	◎		
英語文献講読演習(中級)	自由 自由選択 科目	2~4	学部英語副専攻科目として、心理学に関する英語の専門書や学会誌論文の応用的な読解能力、議論する能力を養う。		△	◎		
英語文献講読演習(上級)	自由 自由選択 科目	3~4	学部英語副専攻科目として、心理学に関する英語の専門書や学会誌論文の発展的な読解能力、議論する能力を養う。		△	◎		
英語表現演習(初級)	自由 自由選択 科目	2~4	学部英語副専攻科目として、心理学における英語で表現する能力(書く力、話す力、聞く力)の基礎的な側面を養う。			△	◎	

現代心理学部心理学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部心理学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心理学、隣接・ 関連諸科学の基 礎的概念を理解 し、説明すること ができる	3) 心理学に関する 文献理解のため の基礎知識と英 文読解力を身に つける	4) 実験・調査等の 技術、研究・調 査を計画・立案 し、研究の成果 を報告する能力 を身につける	5) 心理学の知識と 方法論を問題解 決に応用する能 力を身につける
英語表現演習(中級)	自由 自由選択 科目	2~4	学部英語副専攻科目として、心理学における英語で表現する能力(書く力、話す力、聞く力)の応用的な側面を養う。			△	◎	
英語表現演習(上級)	自由 自由選択 科目	3~4	学部英語副専攻科目として、心理学における英語で表現する能力(書く力、話す力、聞く力)の発展的な側面を養う。			△	◎	
英語ディベート(発展)	自由 自由選択 科目	3~4	学部英語副専攻科目として、心理学における研究内容発表や質疑応答等を英語で行うための実践的な能力を養う。			△	◎	
短期海外留学プログラム	自由 自由選択 科目	2~4	1ヶ月程度の短期海外留学プログラムを通じて、英語における一般的な力と異文化交流経験を育む。	◎		◎		
社会調査概論	自由 自由選択 科目	1~4	社会調査士資格関連科目として、社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を理解し、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的な事項について学習する。		○			◎
社会調査設計法	自由 自由選択 科目	1~4	社会調査士資格関連科目として、社会調査の方法論的な側面に注目し、調査の企画・設計からデータの収集と整理に関する具体的な方法について理解する。		○		◎	
社会調査演習	自由 自由選択 科目	3~4	社会調査士資格関連科目として、心理学的な視点から、統計的な手続きに基づいた社会調査を行うために、調査の企画から実施、データ分析・報告書作成までの実践スキルを習得する。		○		◎	◎
心理検査実習	自由 自由選択 科目	3~4	臨床心理アセスメントにおいて、心理検査を用いて心理的な状態を正確に把握するために、心理検査の実施、検査結果の分析、解釈方法について、実習を通して学習する。心理的アセスメントの目的及び倫理、心理的アセスメントの観点及び展開、心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査)、適切な記録及び報告等について理解する。				◎	◎
心理面接実習	自由 自由選択 科目	3~4	心理面接における基本的な態度や技法について、体験的実習を通して学習する。心理的アセスメントの目的及び倫理、心理的アセスメントの観点及び展開、心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査)、適切な記録及び報告等について理解する。				◎	◎
情報処理	自由 自由選択 科目	1~4	表計算ソフトを用いて、心理学データの取り扱いの基礎を身につける。データの入力、データの加工、図や表の作成の方法などを修得する。				△	△
関係行政論	自由 自由選択 科目	2~4	保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野に關係する制度等について理解する。	○	○			△
公認心理師の職責	自由 自由選択 科目	3	公認心理師の役割、公認心理師の法的義務及び倫理、心理に関する支援を要する者等の安全の確保、情報の適切な取扱い、保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務、自己課題発見・解決能力、生涯学習への準備、多職種連携及び地域連携等について理解する。	○	◎			○
心理演習	自由 自由選択 科目	3	コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等、心理に関する支援を要する者等に関する知識及び技能の修得、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解などに関する基礎的な知識及び技能の修得を目的とし、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)を行い、事例検討で取り上げることを通じて学習、理解する。	○	◎		△	◎
心理実習	自由 自由選択 科目	3	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の施設において、見学等による実習を行いながら、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について基礎的な知識及び技能を学ぶ。	○	◎		△	◎

カリキュラム・マップ

現代心理学部の教育目的

「人間とは何か」という古からの根本問題を、心、身体、映像に関する諸学を通じ、サイエンス、フィロソフィ、アートが融合した、現代世界にふさわしい方法で探究すること。

学修成果

<映像身体学科>

- 1) 「人間とは何か」の根本問題に対し、心、身体、映像の3つの視点から理論的、実践的アプローチを行なうことにより、21世紀を生きる人間にとって有効な思考方法を身につけることができる。
- 2) さらに、「人間とは何か」の根本問題をめぐり、現代心理学部全体の知見を統合しつつ、心、身体、映像を多面的に理解する。
- 3) 人間の <からだ> をめぐって多様に蓄積されてきた東西の哲学、科学思想・身体技法を包括的に学ぶ <身体学> を修める。
- 4) こうした <身体学> の内部にあるものとして、知覚と運動に関する人間科学的思考の基礎を身につける。
- 5) 現代の知覚経験に大きく作用するものとしての機械映像の本質を、歴史的、理論的に学習する。映像を通して実現される表現や思考を解析し、批判し、創造的に実践できる技能を身につける。

現代心理学部映像身体学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部映像身体学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心、身体、映像 の知覚の基礎的 概念を理解し、 説明することが できる	3) 人間の <からだ> をめぐって多様に蓄 積されてきた東西の 哲学、科学思想・身 体技法を包括的に 学ぶ <身体学> を 修める	4) <身体学> の内部 にあるものとして、知 覚と運動に関する思 考方法の基礎を身 につける	5) 機械映像の本質を、 歴史的、理論的に学 習する。映像を通し て実現される表現や 思考を解析し、批判 し、創造的に実践で きる技能を身につけ る
現代心理学入門	必修科目	1	心・身体・映像の知の総合と「新たな人間学」の構築をめざして、各担当教員が専門学・思考を基盤として行う多様な発題を理解し、自分の知識と関心を専門学と関連付けられるようになる。	◎	○	○	○	○
映像身体学入門1	必修科目	1	映像身体学科の基幹的な導入科目として専任教員の講義を受けることで、映像身体学の理論的基礎を中心に学び、映像身体学の意義を理解して考察できるようになる。	◎	○	◎	○	◎
映像身体学入門2	必修科目	1	映像身体学科の基幹的な導入科目として専任教員を主体とする講義を受けることで、映像身体学の問題圏の広がりを知り、考察できるようになる。	◎	○	◎	○	◎
入門演習1	必修科目	1	専任教員によるリレー形式の演習を通して、大学で学ぶための基本的スキルおよび映像身体学を構成する知の基礎とその広がりを理解し、議論できるようになる。	◎	○	○	○	○
入門演習2	必修科目	1	専任教員のリレー形式の講義を受けることで映像身体学科での映像表現や身体表現に対する態度の基礎を身につける。	◎		○		○
学部統合科目1(総合融合)	選択学部統合科目	1~4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像を総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目2(認知行動)	選択学部統合科目	2~4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、現代心理学の中核をなす認知・行動的側面を科学的・実証的に理解する。	◎	○			
学部統合科目3(表現思考)	選択学部統合科目	1~4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、映像や身体をめぐり思想、芸術表現について多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目4(コラボ)	選択学部統合科目	2~4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、現代心理学部のこれまでの取り組みや成果をふまえ、それをさらに発展させた内容をつうじて、心理・身体・映像を総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
基礎演習	選択学科選択科目A	2	専任教員の指導の下、演習やワークショップ形式を通じて基本文献の読解能力や身体表現・映像表現に関する基礎的な経験など、映像身体学を発展的に学ぶ上での基礎を身につけ、議論や表現ができるようになる。	○	△	◎	○	◎
専門演習1・2	選択学科選択科目B	3~4	専任教員の指導の下、演習やワークショップ形式を通じて、文献読解や身体表現・映像表現に関する経験と考察を深め、卒業論文・卒業制作、またはそれに匹敵する成果を挙げられるようになる。	○	△	◎	○	◎
他者の現象学	選択学科選択科目C	2~4	哲学における現象学と他者論が、こころとからだの認識に何を示唆しているかを自ら探究できるようになる。	◎	○		○	
アフォーダンス	選択学科選択科目C	2~4	生態心理学の核をなすアフォーダンスの理論を学び、映像・身体にかかわる表現を環境の中のプロセスとして捉えられるようになる。	◎	○		○	

現代心理学部映像身体学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部映像身体学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心、身体、映像 の知覚の基礎的 概念を理解し、 説明することが できる	3) 人間の <からだ> をめぐって多様に蓄 積されてきた東西の 哲学、科学思想・身 体技法を包括的に 学ぶ <身体学> を 修める	4) <身体学> の内部 にあるものとして、知 覚と運動に関する思 考方法の基礎を身 につける	5) 機械映像の本質を、 歴史的、理論的に学 習する。映像を通し て実現される表現や 思考を解析し、批判 し、創造的に実践で きる技能を身につけ る
養生論の思想	選択 学科選択 科目C	2~4	日本とアジア各地域に蓄積されてきた身体、生命、健康に対する認識・知恵を再評価できるようになる。	◎	○	○		
オートポイエーシス	選択 学科選択 科目C	2~4	現代科学哲学の一部門としてのオートポイエーシス論を学び、表現、創造の行為を、人文科学の視野を越えて、自然システムの中で捉えられるようになる。	◎	○		○	
フィルム・スタディーズの基礎	選択 学科選択 科目C	2~4	映像がどこからどこに及ぼすはたらきを理解する前提として、映画芸術に固有の表現様式を系統的に学び、自分で対象を論じられるようになる。	◎				○
生命システム論	選択 学科選択 科目C	1~4	生命の基本的知識の修得をつうじて、生命のイメージを理解し形成できるようになる。生命は地球上で最大の多様性をもつ存在であり、生命イメージの活用法を自ら探究できるようになる。	○	○		◎	
現代思想概説	選択 学科選択 科目C	1~4	<映像>と<身体>について考えるために、主に20世紀の思想の成果をふり振り返りながら、それらの思想がどのような重要な問題提起を行ったのかを理解し、自分で論点を立てられるようになる。	◎	○			
身体社会論	選択 学科選択 科目C	1~4	植民地主義や人種主義などの近代社会を深く規定する身体性をさまざまな芸術表現などを通して理解することで「社会を身体論的に把握するとはどういうことか」について論じられるようになる。	◎		○		
映像社会論	選択 学科選択 科目C	1~4	映像文化の歴史的事例の検証と映像の特性をめぐり理論的考察を通して、映像が浸透した社会の諸相とそこに生きる人間の諸問題について理解を深め、論じられるようになる。	○				◎
生態心理学	選択 学科選択 科目C	1~3	生態心理学の基本的な枠組みについて理解し、自ら用いることができるようになる。			○	◎	
身体表現史	選択 学科選択 科目C	1~3	身体表現を歴史的に考察し、あまりに広い「身体表現の歴史」という事柄にどのような意味をもたせられるかを自ら探究できるようになる。			○	◎	
映像表現史	選択 学科選択 科目C	1~4	具体的に映画(映像)作品を観る(聴く)こと、それについて書くことで、「映画(映像)とは何か」を考え、表現できるようになる。	○				◎
生態心理学実験	選択 学科選択 科目C	2~4	講義と実験を行い、行為を観察・記述する方法の習得を通して、生態心理学の基本的な視座を理解し、用いることができるようになる。			○	◎	
身体系ワークショップ1~7	選択 学科選択 科目C	2~4	演劇、ダンスやさまざまな身体技法を学び、実際に身体を動かすことを通じて、身体についての新たな知見を得、いままでとは違う身体の動かし方や身体についての語り方ができるようになる。	○		◎		
映像系ワークショップ1~7	選択 学科選択 科目C	2~4	映画、写真、先端映像技術などの実践を通じて機械的映像についての理解を深め、考え、表現できるようになる。	○				◎
超域系ワークショップ1	選択 学科選択 科目C	2~4	既成のジャンルに捉われない表現活動について実践し理解を深める。	◎				
戯曲シナリオ演習1~2	選択 学科選択 科目C	2~4	戯曲=シナリオを様々な角度から読みこむことで、演劇への理解を深め、そのことで培われた感受性をもとに、世界を考察しなおすことができるようになる。	◎		○		
身体学文献講読1~3	選択 学科選択 科目C	2~4	身体学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○		◎	○	
映像シナリオ演習1~2	選択 学科選択 科目C	2~4	シナリオを書くこと、読むことを通じて、「劇映画の面白さとは何か」について考え、論じられるようになる。	○				◎
映像シナリオ演習3	選択 学科選択 科目C	2~4	映像におけるシナリオを書くための基礎的知力を高め、10分程度の映像(TVドラマ、ドキュメンタリー、映画など)のシナリオを一篇、完成させることができるようになる。	○				◎
映像学文献講読1~3	選択 学科選択 科目C	2~4	映像学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○				◎

現代心理学部映像身体学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部映像身体学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心、身体、映像 の知覚の基礎的 概念を理解し、 説明することが できる	3) 人間の <からだ> をめぐって多様に 蓄積されてきた東 西の哲学、科学思 想・身体技法を包 括的に学ぶ <身 体学>を修める	4) <身体学>の内 部にあるものとし て、知覚と運動に 関する思考方法の 基礎を身につける	5) 機械映像の本質を、 歴史的、理論的に 学習する。映像を 通して実現される 表現や思考を解析 し、批判し、創造 的に実践できる技 能を身につける
身体思想	選択 学科選択 科目C	1~4	身体をめぐる知を多様な視点から学び、身体としての人間についての見識を獲得し、自ら探究できるようになる。	○		◎	○	
現代演劇論1	選択 学科選択 科目C	2~4	現代の演劇について、演劇という芸術の特徴、社会において演劇が果たす役割について理解を深める。	○		◎		
現代演劇論2	選択 学科選択 科目C	2~4	ドラマツルギーについて理解し、論じられるようになる。	○		◎		
比較舞踊論1	選択 学科選択 科目C	2~4	20世紀に登場したヨーロッパ、日本のアヴァンギャルド芸術運動における身体の捉え方を理解し、論じられるようになる。	○		◎		
比較舞踊論2	選択 学科選択 科目C	2~4	特に舞踏に限定せずに、身体について、また広く舞踊表現について、柔軟な視点で鑑賞するために必要な基本的な知識を身につける。	○		◎		
身体人類学	選択 学科選択 科目C	2~4	同時代の思想、文化研究、社会運動、身体表現、スポーツ、アニメなどを横断的に分析し、現代の身体を探索するための多様な方法を身につける。	○		◎		
芸術人類学	選択 学科選択 科目C	2~4	芸術を人類の営みとして、身体性、知覚、技術としてのアートなどとの関連で理解し、論じられるようになる。	○		◎		
医学身体論	選択 学科選択 科目C	2~4	医学は、「身体」ともっとも実践的にかかわる世界であると言える。そこで「身体」はどうとらえているのかを、具体的に学んで考える。医学でとらえられている「身体」について、より具体的な身体疾患や精神疾患とのかわりの中で知り、考察する。	△	○	◎		
映像思想	選択 学科選択 科目C	1~4	映像身体学科で学ぶ上で基礎となる映像を巡る知の基本的枠組みを身につける。	△	○			◎
アメリカ映画論	選択 学科選択 科目C	1~4	アメリカ映画を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
ヨーロッパ映画論	選択 学科選択 科目C	2~4	ヨーロッパで制作された映画作品を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
日本映画論	選択 学科選択 科目C	2~4	日本映画を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
アジア映画論	選択 学科選択 科目C	2~4	アジアの映画作品を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
ドキュメンタリー映画論	選択 学科選択 科目C	2~4	機械映像である映画の本質、特性をふまえながらドキュメンタリー映画についての知識を深め、ドキュメンタリーとは何かを理解し、論じられるようになる。	△				◎
写真映像論	選択 学科選択 科目C	1~4	機械映像である写真の本質、特性をふまえながら、写真がどのような力を持ち、機能しているかを多角的に理解し、考察して論じられるようになる。	△	○			◎
映像技術論1	選択 学科選択 科目C	2~4	演出や脚本を十全に生かすために必要な「映像技術」の知識を習得し、自ら用いられるようになる。					◎
映像技術論2	選択 学科選択 科目C	3~4	演出や脚本を十全に生かすために必要な「映像技術」の知識を習得し、自ら用いられるようになる。					◎
ファッション思想	選択 学科選択 科目C	2~4	身体表現・映像表現としてファッションを捉えられるようになる。	◎		○		
広告論	選択 学科選択 科目C	2~4	広告とは何かを理解し、これまでとは異なった広告表現の受け取り方ができるようになる。	○	△	○		
次世代メディア論	選択 学科選択 科目C	2~4	次世代メディアについて、その知識を習得しながら表現のありよう可能性を理解し、考察して論じられるようになる。	○		○		○

現代心理学部映像身体学科(課程)のカリキュラム				現代心理学部映像身体学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)				
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」 に対して多面的 に理解し、有効 な思考方法を身 につける	2) 心、身体、映像 の知覚の基礎的 概念を理解し、 説明することが できる	3) 人間の <からだ> をめぐって多様に蓄 積されてきた東西の 哲学、科学思想・身 体技法を包括的に 学ぶ <身体学> を 修める	4) <身体学> の内部 にあるものとして、知 覚と運動に関する思 考方法の基礎を身 につける	5) 機械映像の本質を、 歴史的、理論的に学 習する。映像を通し て実現される表現や 思考を解析し、批判 し、創造的に実践で きる技能を身につけ る
映像人類学	選択 学科選択 科目C	2~4	「人類」と「映像」とのかかわりを、映画の生誕と同じ19世紀後半に生まれた「人類学・民族学」の視点を交えて考察する。	○	○	○		◎
ジェンダー文化論	選択 学科選択 科目C	2~4	ジェンダーとセクシュアリティをめぐる問題を理解し、論じられるようになる。	◎	○			
ポストコロニアル論	選択 学科選択 科目C	2~4	私たちにとっての、「ポストコロニアリズム」のアクチュアリティを理解し、論じられるようになる。	◎				
音の思想1	選択 学科選択 科目C	2~4	音楽とは何かを思考しながら、音楽をその背景となる人や文化とともに理解し、表現活動への捉え方を深める。	◎	○			
音の思想2	選択 学科選択 科目C	1~4	音楽とは何かを思考しながら、音楽を通して現代の映像と身体をより深く捉える視点を深める。	◎	○			
芸術の思想	選択 学科選択 科目C	1~4	芸術への理解を深め、現代における映像と身体をより深く捉える視点を深める。	◎	○			
言語芸術論	選択 学科選択 科目C	2~4	言語表現による芸術の可能性を学ぶ。	◎	○			
視覚論	選択 学科選択 科目C	1~4	視覚に関する心理学・哲学的概念の変遷を学び、視覚について理解を深める。	◎	○			
認知科学	選択 学科選択 科目C	1~4	認知科学の基本概念を修得し、認知の働きと情報処理との関連について考察する。		○		◎	
アートの心理学	選択 学科選択 科目C	2~4	アートと心理学との接点を多様な題材から探る。		○		◎	
映像身体学特講 1~8	選択 学科選択 科目C	2~4	担当教員が現在最もアクチュアルであると考えているトピックスをめぐる講義を通じて映像論・身体論の最先端の知とはどのようなものかを理解し、論じられるようになる。	○		◎		◎
映像技術入門A・B	選択 学科選択 科目C	1	映像制作の初心者が映像と編集の基礎的な技術を身につけ、自ら用いることができるようになる。					◎
映像技術中級1	選択 学科選択 科目C	2~3	「映像技術入門」で習得した基礎から、より豊かな映像表現のための技術、及びテーブル素材管理の技術を身につける。					◎
映像技術中級2	選択 学科選択 科目C	2~3	「映像技術入門」と「映像技術中級1」の内容を踏まえて、より映像作品としてのクオリティを高める技術を身につける。					◎
舞台技術演習	選択 学科選択 科目C	2~4	演劇・ダンス公演における舞台機構や機材の基礎知識・技術を習得することで、舞台芸術の可能性を探り、安全な創作活動ができるようになる。			○		
都市の記憶と表象 文化	選択 学科選択 科目C	2~4	映像と身体をめぐる表現を中心とした問題系について、海外体験を通じて知見を広め、映像身体学の学びを深める。	◎				
卒業論文・卒業制作 指導演習1・2	選択 学科選択 科目D	4	指導教員の下で卒業論文・卒業制作をより高いレベルで仕上げられるようになる。	△	△	○	○	○
卒業論文・卒業制作	選択 学科選択 科目D	4	映像身体学科で学んだことの集大成として論文や映像表現・身体表現の作品を制作する。	◎	○	○	○	○
短期海外留学プロ グラム	自由 自由選択 科目	2~4	1ヶ月程度の短期海外留学プログラムを通じて、英語における全般的な力と異文化交流経験を育む。	◎				